

令和 8 年 9 月 1 8 日
環 境 局

令和 7 年度指定管理者管理運営状況評価結果について
(自然公園施設・都民の森)

東京都では、指定管理者制度を導入した公の施設の管理運営状況について、第三者の視点を含めた評価を実施しています。

このたび、令和 7 年度の評価結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

1 評価の目的

評価は、管理の履行状況、安全管理、法令遵守、サービスの利用状況といった観点から指定管理者の業務実施状況等を評価し、その結果を今後の施設管理運営に反映していくことで都民サービスの向上を図っていくことを目的としています。

2 評価の方法

指定管理者の年間を通じた施設の管理運営状況について、毎年度終了後、所管局による一次評価及び評価委員会（外部委員で構成）による二次評価を行い、これらの評価結果に基づき、環境局の最終評価として総合評価を決定します。

3 評価の概要

(1) 評価基準（4 段階）

総合評価	内容
S	管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
A	管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
B	管理運営が良好であった施設
C	管理運営に良好ではない点が認められた施設

評価の観点については別紙 1 のとおり。

(2) 評価委員会名及び委員構成

評価委員会	対象施設	委員構成
環境局指定管理者 評価委員会	東京都立奥多摩湖畔公園山の ふるさと村等 10 施設	外部委員 5 名(学識経験者等 5 名)

評価委員会委員の氏名については別紙 2 のとおり。

(3) 評価結果

	S	A	B	C	計
東京都立奥多摩湖畔公園山の ふるさと村等 10 施設	1 施設	7 施設	2 施設	—	10 施設

各施設の評価は別紙 3 のとおり。

【問合せ先】環境局自然環境部緑環境課自然公園担当
都庁内線 4 2 - 6 8 1
直 通 0 3 - 5 3 8 8 - 3 5 0 8

評価の視点

項 目		内 容
管理状況	適切な管理 の履行	○ 協定及び事業計画に沿って適切に管理が行われているか ・ 維持管理及び案内等に関する取組が適切に行われているか ・ 人員配置やワークライフバランスへの配慮等への取組が適切かなど
	安全性の 確保	○ 施設の安全性は確保されているか ・ 自然災害等に備え、避難訓練等を実施しているか ・ 自然災害等の発生時に、的確で速やかな対応がなされているかなど
	法令等の 遵守	○ 個人情報保護、報告等は適切に行われているか ・ 個人情報保護・情報公開の取組は適正に行われているか ・ 個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等が発生していないか ・ 事故等が起きた際の対応や都への報告は適正になされているかなど
	適切な財務 ・ 財産管理	○ 適切な財務運営・財産管理が行われているか ・ 経理の明確な区分など、経理処理が適切になされているか ・ 都有財産（物品など）が適切に管理されているかなど
事業効果	利用の状況	○ 事業計画どおりの利用状況となっているか ・ 利用者数（環境の変化など外部要因を考慮）は増加しているか ・ 利用者要望・苦情等の把握、共有は適正に行われているか ・ アンケート回収枚数向上の取組がなされているか ・ 利用者要望等に対し、適切な対応がなされているかなど
	サービス 内容等の 向上等	○ 事業内容、職員の対応等について、利用者の反応はどうか ・ 施設の特性及び利用者ニーズに応じたイベントを積極的に実施しているか ・ 利用者の高い満足度が得られているか ・ オフシーズンの利用促進に向け、積極的な取組がなされているか ・ 施設の広報に関する取組が効率的・効果的になされているか ・ 地域連携や地域振興等への取組が実施されているか ・ 業務の効率化に向けた取組が実施されているか ・ 従業員の人材育成のための取組が積極的に実施されているかなど

評価委員会委員名簿

評価委員会名	委員氏名	役職名
環境局指定管理者 評価委員会	岩永 法子	公認会計士
	坂井 雪	観光まちづくりアドバイザー
	鳥居 敏男	一般財団法人自然公園財団専務理事
	町田 怜子	東京農業大学地域環境科学部教授
	山本 清龍	東京大学大学院農学生命科学研究科准教授

令和 7 年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧

施設名	所在地	指定管理者名	指定期間	総合評価	評価内容
東京都立奥多摩湖畔公園 山のふるさと村	奥多摩町	奥多摩町	5 年 (令和 6 年度～ 令和 10 年度)	A	- 施設清掃や日常点検を適切に行い、繁閑に応じた効率的な人員配置を行っている。 - 監視カメラ、猟友会の見回り、ごみ撤去、電気柵の管理など、クマ対策に取り組んでいる。 - 施設の維持管理をできるだけ直営で行うなど、経費節減に努めている。 「山のふるさと村まつり」にテーマを設定し、オフシーズンの集客に貢献している。 - ペレット利用やジビエ提供など、環境配慮型・地域資源循環型の取組を行っている。 - 利用者ニーズを分析し、Web 予約システム導入などサービス向上に取り組んでいる。 - ペレット調達について、関係機関や民間事業者と連携した資源循環づくりが期待される。
東京都奥多摩ビジターセンター	奥多摩町	株式会社 自然教育研究センター	5 年 (令和 7 年度～ 令和 11 年度)	A	- クマ対策が求められる中、正確で穏当な情報発信に努め、適切な管理を行っている。 - 自然教室の参加者数増加や展示企画の強化により、利用者満足度の向上につなげている。 - 国立公園指定 75 周年記念事業を環境省等と連携して実施し、効果的な事業展開を行っている。 - AI を活用したアンケート分析を、ツキノワグマに関する展示企画など運営改善に活用している。 - AI 活用の有効性や課題について、他施設への共有が期待される。 - 業務メールの誤送信を踏まえ、送信前確認の徹底など、情報セキュリティ対策の継続的な強化が期待される。
東京都御岳ビジターセンター	青梅市	株式会社 自然教育研究センター	5 年 (令和 5 年度～ 令和 9 年度)	A	- 園地点検（巡視）を年間 90 回実施し、危険箇所対策や安全配慮に努めている。 - クマの活動時期を踏まえた来訪時期の案内や注意喚起など、利用者の安全確保に取り組んでいる。 - ウォシュレット増設や入口アイコン掲示など、利用者の利便性・視認性向上に取り組んでいる。 - 宿坊宿泊型や文化体験型など、地域資源を活用した自然体験プログラムを展開している。 - 御岳登山鉄道との連携イベントや駅のデジタルサイネージによる情報発信を実施している。 - 英語による情報発信を強化し、外国人利用者の増加につなげている。 - クマ対策について、想定される事態ごとの情報発信内容の整理が期待される。 - インバウンド増加を見据えた受入体制のさらなる検討が期待される。
東京都御岳 インフォメーションセンター	青梅市	一般社団法人 青梅市観光協会	5 年 (令和 5 年度～ 令和 9 年度)	B	- 奥多摩町観光案内所と連携し、クマ目撃情報、台風、通行止め情報、花の開花情報等を発信している。 - 小規模施設ながら、来訪者ニーズに応えるためアンケート調査等に取り組んでいる。 - 開所時間の延長や地域物産品の品揃え充実など、来館者ニーズに応じたサービス向上を図っている。 - 英語対応スタッフの配置など、外国人対応の強化に取り組んでいる。 - 観光協会と連携した情報提供や体験活動等により、施設の利用促進に取り組んでいる。 - 駅前立地の特性を活かした施設運営について、引き続き検討が期待される。
東京都高尾ビジターセンター	八王子市	株式会社 自然教育研究センター	5 年 (令和 5 年度～ 令和 9 年度)	A	- ナラ枯れ対策、年間 108 回の登山道調査、救急対応訓練など、来訪者受入と現場管理に取り組んでいる。 - 英語表記やインバウンド対応の充実により、多様な利用者の受入環境を整えている。 - ワークショップ内容の工夫や日常プログラムの充実により、参加者増加につなげている。 - SNS を活用した英語による自然情報・通行止め情報の発信により、外国人入館者数の増加に貢献している。 - T シャツやポストカード等のオリジナル商品など、独自性のある事業展開を行っている。 - 外国人に対し、違法行為とマナー違反の違いが分かる情報発信が期待される。

施設名	所在地	指定管理者名	指定期間	総合評価	評価内容
東京都立小峰公園	あきる野市	公益財団法人 東京都公園協会	5 年 (令和 5 年度～ 令和 9 年度)	A	・清掃、巡回、希少種保全など、施設と周辺環境を適切に管理している。 ・危険木の伐採処理やアライグマ・クビアカツヤカミキリ等の外来種駆除により、安全管理と里山環境保全に取り組んでいる。 ・稲作体験や炭焼き体験など、満足度の高い里山体験を実施している。 ・民間企業、類似施設、教育機関、自治体等との連携により、多様な体験機会を創出している。 ・五日市警察署山岳救助隊との啓発活動や FM コミュニティラジオでの花情報発信など、潜在的利用者への訴求に取り組んでいる。 ・クマの影響による利用者減少を踏まえ、利用者回復に向けた取組が期待される。 ・里山管理が持続可能な社会づくりにつながる意義の発信が期待される。
東京都立多幸湾公園	神津島村	神津島村	2 年 3 か月 (令和 6 年度～ 令和 8 年 6 月 30 日)	B	・台風対応、センサー式ライト設置、デジタルサイネージ導入など、利用者のための管理を行っている。 ・利用者に合わせた村営バスの増便対応など、利用者利便性向上に取り組んでいる。 ・島散歩、星空観察など、島の自然を満喫できるイベントを閑散期に実施している。 ・エコツーリズム推進協議会を設立し、村と連携してガイドの育成に取り組んでいる。 ・氷とアイスの通年販売など、施設利用者へのサービス向上に取り組んでいる。 ・ホームページの多言語対応など、利用者が求める情報提供の充実が期待される。 ・島内外の利用者をどのように受け入れるか、自然教室の戦略や計画の明確化が期待される。
東京都小笠原ビジターセンター	小笠原村	公益財団法人 東京都公園協会	5 年 (令和 5 年度～ 令和 9 年度)	S	・地震・津波時の連絡体制の構築や避難誘導訓練の実施など、利用者の安全確保に努めている。 ・おがさわら丸の運航に合わせた開館日設定やガーデンライトの設置など、柔軟で快適な施設運営を行っている。 ・マッコウクジラ骨格発掘体験、星空観察会、ジョン万次郎展など、小笠原ならではの体験プログラムを提供している。 ・マイクロプラスチック回収・啓発活動など、世界遺産・国立公園にふさわしい環境保全の取組を展開している。 ・パークミーティング等を通じた島内外の関係機関との連携により、提案や要望を管理運営に反映している。 ・来島者が数日間継続して参加できる滞在型プログラムの充実が期待される。
東京都奥多摩都民の森	奥多摩町	奥多摩町	5 年 (令和 6 年度～ 令和 10 年度)	A	・年間 125 回のパトロールにより危険因子を把握し、ホームページ等で迅速に発信するなど利用者の安全管理に努めている。 ・草刈り、園内整備、園路清掃など、施設と周辺区域を適切に管理している。 ・紙媒体からデジタル情報への移行など、情報提供の改善に取り組んでいる。 ・林業、溪流釣り、畑づくりなど、山間地ならではの体験教室を実施している。 ・高度な技能を有する講師による質の高いプログラムを提供し、参加者から高い満足度を得ている。 ・ワサビなど地元特産品の販売により、地域資源を活用したサービス向上に取り組んでいる。 ・泊食分離や安価な宿泊提供について、地域の宿泊施設との棲み分けや役割分担の検討・共有が期待される。

施設名	所在地	指定管理者名	指定期間	総合評価	評価内容
東京都檜原都民の森	檜原村	檜原村	5 年 (令和 6 年度～ 令和 10 年度)	A	・ 駐車場満車時の送迎、倒木処理、熊鈴貸出しなど、安全で快適な利用環境の確保に努めている。 ・ 日常の施設管理や事故防止対策に加え、点字表示などユニバーサルデザインの工夫に取り組んでいる。 ・ 木工教室や自然教室を高い頻度で実施し、施設機能を活かした体験機会を提供している。 ・ 路線バス急行便や電気自動車による無料送迎など、利用者の移動負担軽減に取り組んでいる。 ・ 雨の日特典など利用促進に向けた工夫を行っている。 ・ クマ遭遇事故防止のため、情報発信等の対策強化が期待される。 ・ 利用者増加につなげるため、さらなる情報発信やプログラムの充実が期待される。